

1 学校教育目標

「自ら学ぶ子、学び合う子」  
～肯定的なかかわりの中で～

2 学校教育推進の視点

○「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」の育成 ○保幼小連携教育・小中一貫教育の推進  
○特色ある学校づくり ○家庭、地域に開かれた安全な学校づくり

3 総合的な自己評価

キャリア教育との繋がりを大切にした校内研修を計画通り実施し、成果を確実に次の授業につなぐ取組を進めることができた。職員層の若年化に伴い、今後 OJT による育成をさらに充実させる必要がある。勤務時間の適正化については、意識改革を含め、実効性の高い取組の必要がある。

4 自己評価結果 (A：達成している B：概ね達成している C：あまり達成していない D：達成していない)

領域	評価の観点	評価項目	達成状況	課題を踏まえた改善の方策
教育課程	・ 確かな学力を身に付ける学習指導	・ キャリア教育の視点を取り入れ、相手を意識して伝える力、相手を肯定的に受け入れた上で聴く力、反応を返す力を意識した授業の展開・工夫	A	○共感的に聴き、想いを返せる効果的な場面の設定 ○キャリア教育における基礎的汎用的能力を意識した授業実践
	・ 道徳教育	・ 心豊かな児童育成を目指した授業、兵庫版道徳教育副読本の活用	B	○教科担任、少人数担当の報告・連絡・相談の充実
	・ 英語遊び・外国語活動・英語科	・ 指導内容・事例集の共有と指導の充実	B	○道徳授業の公開 評価方法の更なる組織的な共通理解
	・ 総合的な学習の時間	・ 自らの課題追求、体験的活動の充実、コミュニケーション力	B	○ALT との連携
	・ 特別活動	・ わくわく活動、校外児童会、話し合い活動の充実	A	○地域に学ぶ体験活動の充実 ○教科学習での学びの応用・活用
学校運営	・ 開かれた学校づくり	・ 情報発信、オープンスクール、授業参観、懇談会	A	○HP 作成分担の工夫と充実
	・ 勤務時間の適正化	・ 定時退勤日、ICT化による業務効率化、ポスター啓発	C	○授業参観・懇談会の工夫・行事のあり方の工夫
	・ 引継ぎ連携システムの強化	・ 東中学校区小中一貫の取組、保幼小連携の取組	B	○意識改革 メールの有効活用 校務支援システムの有効活用
	・ 生徒指導 (いじめや不登校の問題を含む)	・ 「心の教育」、アセスの活用、わくわくひとり立ち、自立する子 ・ 児童理解・未然防止・早期発見・早期対応 対応マニュアル研修	B	○育てたい児童・生徒像をふまえた小中一貫、保幼小連携強化 ○アセス調査資料の有効活用による児童理解の充実
	・ 職員研修の推進	・ 校内研修会、対外研修の伝達・充実、メンタルヘルス研修	A	○同僚性をいかした研修の充実 オープンクラスルーム実施
	・ 危機管理体制の整備	・ 校内や遊具の安全点検、通学路・危険箇所点検、整備	B	○登下校指導の強化・関係機関・安全ボランティア協力要請
課題教育	・ ふるさと教育	・ 地域人材・地域教材の活用・市のカリキュラムの実施	A	○地域人材に学ぶ機会の創出・地域との連携
	・ コミュニケーション教育	・ 授業実践と振り返り、先進校視察	B	○コミュニケーション教育の校内研修の充実
	・ キャリア教育	・ 年間指導計画の更新、実践内容の充実、キャリアノート活用	B	○発達段階にあわせたキャリア教育の実践 (日高高校との交流等)
	・ 体験活動	・ 自然学校、社会見学、地域の教育資源や人材の活用	A	○地域と連携した防災訓練
	・ 人権教育	・ 「ほほえみ」の活用、心の広場、学級経営、ポスター標語応募	B	○栽培活動・環境教育の充実
	・ 特別支援教育	・ 教育相談活動、特別支援教育研修	B	○読書記録の有効な活用、朝読書の時間のさらなる活性化
	・ 環境教育	・ 環境体験事業、もくもく掃除の徹底	B	○読書ボランティアの活用の充実
	・ 安全教育・防災教育	・ 防災訓練、引渡し訓練、交通安全指導、メモリアルデー	A	○発達段階にあわせた弁当の日の実施
	・ 健康教育・食育・体力づくり・運動遊び	・ 給食指導、新体カテストの分析活用、運動遊び、省 TV	B	○睡眠を確保するための生活点検 (わくわくひとりだち)
	・ 読書活動	・ チャレンジ50、ボランティアの活用、教師読聞せ、読書タイム	B	○iPad の有効活用 プログラミング教育に関する研修
	・ 食育・眼育	・ 食育の日 (囃む Day)、弁当の日、睡眠時間確保	B	
	・ 情報教育	・ ICT 機器を活用した授業・情報モラル研修・SNS 利用注意喚起	B	

5 自己評価方法 (児童生徒・保護者・教員に対するアンケート等) についての意見・改善点

○職員による自己評価 ○オープンスクール、参観日での保護者感想 ○児童、保護者、職員によるアンケート  
○学校評議員会での評価 ○学校教育推進委員会における協議を実施し、具体的な改善策を組織的に実施する。

6 総合的な外部評価

児童・保護者アンケート、学校自己評価では、概ね、日高小学校の学校運営は良好であるといえる。社会見学等を通して、地域連携が深まっている。SNSについては学校でも十分指導してほしい。勤務時間の適正化については、行事の精選、働き方の工夫を通して努力してほしい。

自己評価の妥当性
1 地域と連携した特色ある教育活動について ・ 日高地域での社会見学等をさらに充実させる。 ・ キャリア教育の充実。 ・ 日高高校との連携は継続して、相互に意味のあるものにしてほしい。 (福祉体験活動・健康教育GT指導等)
2 確かな学力の定着と個性や能力を伸ばす教育の推進について ・ 保護者アンケート、全国学力学習状況調査の結果から、今の方向で取組を進めていくことを望む。 ・ 校内研修の充実、授業の指導体制の工夫と充実に引き続き取り組む。 ・ 学校・児童クラブ連絡会の実施継続と充実を通して、適切な連携を図ることを望む。
3 読書活動の充実 ・ PTA や地域の方からの図書寄贈があり、とても恵まれている。チャレンジフィフティの学校表彰も受けた。家庭読書のさらなる取組を期待する。
4 その他 ・ SNS の指導について、今後も十分な指導を継続することを要望する。 ・ 地域の企業からの寄付を受け、プログラミング教育教材を購入。指導の充実に努みたい。

※上記の評価の観点は市統一とするが、各校で特色

※評価項目は各校の実態に応じて設定するが、ある活動・重点項目を追加してもよい。

外部評価者が理解しやすい具体的内容の記述に努める。